

3. 書画カメラの操作

(WolfVision VZ-9.4F)

1. 各部の名称



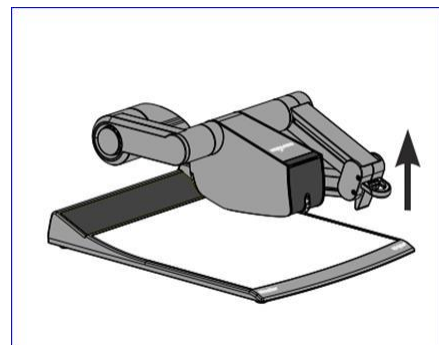
3. 書画カメラの操作

(WolfVision VZ-9. 4F)

2. 使用前の準備

(1)カメラヘッドおよび照明ランプが折り畳まれた状態の時は、プルリングを持って上方に引っ張り、使用状態の位置にする。

- ⚠ 使用状態にすると、自動的に電源が入り、照明ランプが点灯する。
- ⚠ プルリング以外の場所を持ってはならない。



(2)カメラヘッドおよび照明ランプが使用状態にある場合は、電源ボタンを押して電源を入れる。ランプが白色から青色に変わる。

- ⚠ システム電源を入れただけでは、書画カメラの電源は入らない。

(3)照明ボタンを押す。

- ⚠ 電源ボタンを押しただけでは、照明は点灯しない。
- ⚠ 照明ボタンは押すごとに照明ランプ点灯→スライド用バックライト点灯→全消灯を繰り返す。
- ⚠ 部屋が明るい場合は、照明を用いなくても投影することができる。

3. 資料の投影

(1)資料を投影ステージ上に置き、画面を見ながらズームダイヤルで表示範囲を調整する。

- ⚠ 書画カメラのプレビューモニターには、プロジェクター等に映し出される映像と同じものが映るので、こちらを見て調整してもよい。
- ⚠ 現在、A4縦サイズの原稿を上下ともに全て画面に収めるため、アスペクト比を4:3に設定している。

(2)通常は自動フォーカスモードであり、ピントを合わせる必要はないが、合わない時は手動にして合わせる。手動にするには、AFボタンを押してからフォーカスボタンで調整する。(AFボタンは緑色から白色に変わる)自動に戻すには、再度AFボタンを押す。

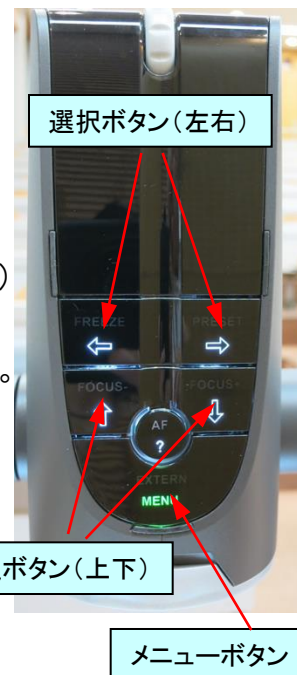
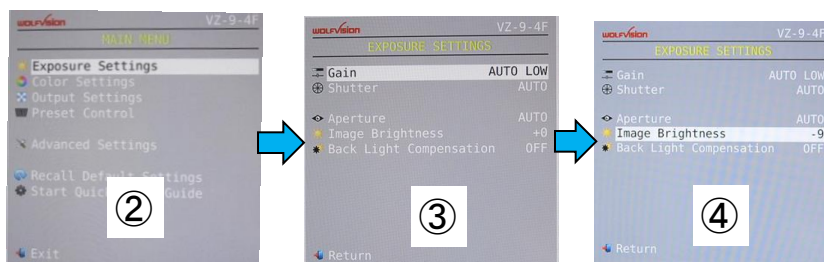
- ⚠ 立体物やコントラストの弱い書類などはピントが合いにくい場合があり、手動にするとうい。
- ⚠ 自動のままでも対象物を少し動かすことで、合う場合がある。
- ⚠ システムの電源を入れた時は常に自動フォーカスになる。



3. 書画カメラの操作 (WolfVision VZ-9.4F)

(3) 明るさの調整は、通常自動で行われるため不要であるが、画面が白くなる場合などは手動で調整する。方法は下記①～⑤参照。

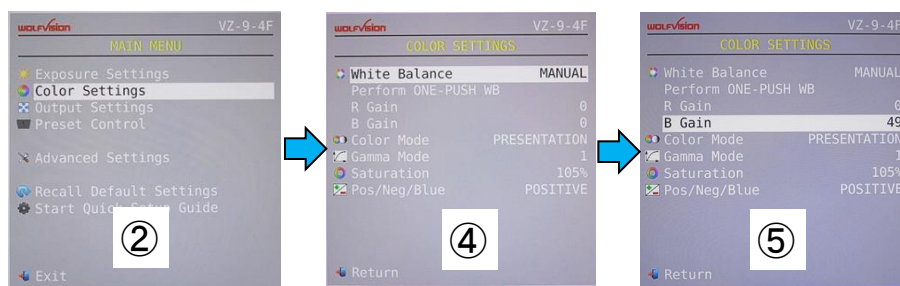
- ①メニューボタンを2秒以上長押しする。
- ②メインメニューが投影画面に出るので、Exposure Settings が選択されていることを確認する。
- ③右選択ボタン(⇒)を押すとExposure Settingsのメニューが表示される。
- ④下選択ボタン(↓)でImage Brightnessを選択し、明るくする場合は右選択ボタン(⇒)、暗くする場合は左選択ボタン(⇐)を押す。-9～+9の範囲で調整できる。
- ⑤終了はReturnを選択し、カメラヘッドのメニューボタンを押す。



⚠ Image Brightnessの設定値は電源を切ると初期値+0に戻る。

(4) ホワイトバランスの調整は通常自動で行われるため、手動操作は不要であるが、実物と投影映像の色が合わない場合や意識的に色を変える場合などは、手動モードにして調整する。方法は下記①～⑥参照。

- ①メニューボタンを2秒以上長押しする。
- ②メインメニューが投影画面に出るので、下選択ボタン(↓)でColor Settingsを選択する。
- ③右選択ボタン(⇒)を押すとColor Settingsのメニューが表示される。
- ④一番上のWhite Balanceが選択されていることを確認し、左選択ボタン(⇐)を押すとMANUALの表示が出て調整が可能になる。(自動に戻るのは⇒ボタン)
- ⑤下選択ボタン(↓)でR Gain(赤調整)またはB Gain(青調整)を選び、左選択ボタン(⇐)でマイナス方向、右選択ボタン(⇒)でプラス方向に値を調整する。
- ⑥終了はReturnを選択し、カメラヘッドのメニューボタンを押す。



⚠ MANUALモードは電源を切るとAUTO-TRACKINGモードに戻る。

3. 書画カメラの操作

(WolfVision VZ-9. 4F)

4. スライドの投影方法

(1) 照明ボタンを押して、スライド用バックライトを点灯させる。

⚠ 照明ボタンは押すごとに照明ランプ点灯→スライド用バックライト点灯→全消灯を繰り返す。

(2) スライドを1枚単位でスライド用バックライトの上に乗せる。(写真参照)

(3) スライド映像が投影画面の中心にくるように、カメラヘッドの向きを斜めにする。

(4) ズームおよびフォーカスは自動的に行われるが、合わない時は手で調整する。

⚠ スライド用バックライトを点灯させると自動的ズームインする。また、消灯するとズームアウトされ、初期状態に戻る。



5. 投影ステージ以外の投影方法

(1) 書画カメラの前方または後方を投影したい時は、カメラヘッドを回転させて被写体の方を向け、クローズアップレンズを外す。(開く)

(2) 照明ランプも適切な方向に回転させる。

(3) 終了したら、クローズアップレンズを装着し(閉める)、カメラヘッドおよび照明ランプを元の位置に戻す。

